

02 伊南と「麻」受け継がれる機織り
06 高校統合問題を一緒に考えましょう！
09 栄えある受章 / 百歳賀寿
10 役場からのお知らせ
国民年金保険料は納付期限までに納めましょう / 「3きり運動」でごみの減量を / 温かい支援にご協力ください / 全量全袋検査から抽出検査へ移行します / 介護施設で一緒に働きませんか？ / 5年に一度の国勢調査が始まります / 町のがんばる企業紹介シリーズ 29 「(福) 南会津会」 / ふるさと納税 (応援寄附金)
15 すまいるだより vol28
16 地域おこし協力隊活動報告
17 まちの話題
特産品を通じてホストタウンをPR / 暑さに負けず、堂々たる太鼓演奏を披露！ / 子どもたちを感染症から守るために / 伊南川の鮎釣りが解禁！ / 疫病退散の願いを込めて / 絵画教室と一緒に学びませんか？ / 町内の医療・介護・保育事業者にエール
19 大宅町長の公務百景 / 8月の納税こよみ
20 暮らしの情報
お知らせ・募集 (5件)、相談 (5件)
22 健康通信
ステイホーム・ドクター事業が始まります / 令和2年度総合健診日程のお知らせ / 虫歯ゼロのお友だち / 乳幼児健診・相談カレンダー / 心の健康相談 / 8・9月の日曜当番医
26 図書館へ行こう！
27 まちの文芸 / 誕生おめでとう / お悔やみ申し上げます / まちの人口 / 編集後記
28 東京五輪への取り組みシリーズ8

今月の表紙

田島保育園「奉納太鼓」
園児たちの情熱や気迫に
大人たちは圧倒されました
(詳細は、17ページへ)



伊南と「麻」

はた つむ
機織りが紡ぐ

— 昔と今 —

「麻」とは

大麻(ヘンプ)、マニラ麻(アバカ)、サイザル麻(ヘネケン)など、さまざまな種類があることをご存じですか。

麻は、日本古来から人々の生活に密接に関わってきた。麻から採取される繊維は衣類をはじめ、漁具や注連縄など、日常生活に必要不可欠な素材として大切にされました。

麻とは、狭義でアサ科の植物そのものを意味します。しかし、現在は植物の皮や葉、茎などから採取される繊維を総称する広義の意味で主に使用されます。

麻といっても亜麻(リネン)や苧麻(からむし)、黄麻(ジュート)、洋麻(ケナフ)、



苧麻(からむし)



亜麻(リネン)の花

伊南郷の営みを支えた「麻」

旧伊南郷領域(伊南村と檜枝岐村の全域、南郷村の南部域)に住む人々の営みを支えた産物は麻です。寒暖の差が大きい気候は、麻栽培に適しており、戦国期から「伊南細美」と称される良質な麻を生産してきました。

当地産の麻は、地元の商人や近江(現・滋賀県)商人により、大阪・京都の上方や江戸へも出荷されていました。上質な麻は大きな利益を生み出すため、多くの百姓たちが、儲かる麻商売に乗り出した歴史があります。麻栽培に

は多くのリスクが伴いますが、いつときに多額の収益を上げる麻農家もあつたようです。

女性たちと機織りの歴史

昔、古町地区には箆剥(おきほ)という機織り名人が住んでおり、現在の伊南地域に機織り文化を広めた人物だと伝えられています。機織りが大変盛んな様子から、古町は「おさはぎ町」とも呼ばれたそうです。

麻の栽培が落ち着く冬から春先にかけて、機織りの音が響かない家庭は一軒もありませんでした。

女性たちの手で、一心不乱に動かされる織り機が奏でる「カラトン、カラトン」という音。それは、昭和20年頃まで続きました。

伊南と「麻」受け継がれる機織り

時代の移り変わりとともに、織物の素材は、麻から絹や羊毛などへと変化していきます。また、機織り文化は、時代の変化に伴い、技術的に習熟した少数の女性のみが担うよ



(写真④) 奥会津博物館伊南館では、当時使用されていた織り機を姿そのまま展示しています。当時の生活を垣間見せる貴重な資料です。

(写真⑤) 昭和45年、多々石地区の五十嵐キヌ子さんにご協力をいただき、撮影した機織りの様子。見ているだけで「カラトン」という音が聞こえてきます。

令和にも残る

機織りの文化

古町地区にある南会津町商工会伊南支所の脇には、小さな建物があります。入り口にある看板には「機織り伝承館」の文字。皆さんはご存じでしたか。

「機織り伝承館」を拠点として、女性の有志の皆さんが集まり、活動されています。次ページでは、活動内容などを紹介します。